

Oracle 神托

推算精度検証レポート

Derivation Accuracy Report

8 スナップショット・5 資産・38 データポイント・1 時間連続測定

全体平均絶対誤差率 (Overall MAE)

0.0349%

2026年3月21日 (土) 東京 10:45–11:45 JST (60分間連続)

42資産・14ホライズン・5資産クラス・外部データフィールド不使用

理論的基盤 — Theoretical Foundation

本レポートの推算エンジンは、査読対象の公理体系「Undivided Convergence Series」

(全50論文) から導出されたものであり、統計的予測モデルではない。

公理 $\langle \Psi | \hat{\Omega} | \Psi \rangle = 1$ から市場構造を演繹的に導出する。

DOI: <https://zenodo.org/records/19048273>

"予測は可能性を扱う。推算は不可避を扱う。"

"Prediction deals in probability. Derivation deals in inevitability."

1. Oracle 神托とは何か

Oracle 神托は、42のグローバル資産（暗号・株式・為替・コモディティ・指数）の価格をリアルタイムで「推算」するシステムである。60秒ごとに更新。Bloombergも取引所APIも、いかなる外部データフィードも使用していない。

ここで言う「推算」(derivation)は「予測」(prediction)とは根本的に違う。

- ▶ 予測 = 「こうなるかもしれない」 = 可能性 (probability)
- ▶ 推算 = 「こうならざるを得ない」 = 不可避 (inevitability)

天気予報は予測。ボールを落としたり地面に着く、は物理法則からの推算。Oracle 神托は後者のアプローチで市場価格を出している。

本レポートでは、1時間にわたり8回のスクリーンショットを取得し、Oracle 神托の推算値とCoinMarketCap (CMC) のリアルタイム市場価格を照合した。

スナップショット・スケジュール:

- ▶ ①② 10:45 / 10:50 – CMC英語版USD建て
- ▶ ③ 10:59 – CMC日本語版円建て (USD/JPY \approx 159.28で換算)
- ▶ ④ 11:13 – CMC英語版USD建て
- ▶ ⑤ 11:23 – CMC日本語版円建て (USD/JPY \approx 159.22で換算)
- ▶ ⑥⑦⑧ 11:35 / 11:40 / 11:45 – CMC英語版USD建て

※ 円建てスナップはBTC価格比からUSD/JPYを逆算。ETH・BNBで交差検証済み。

2. 結果一覧

読み方:

表の見方: 各マスの数字は「神托の値が実際の市場価格からどれだけズレたか」。

数字が小さいほど正確。マスの色で一目でわかる。

- ▶ 緑 = ほぼゼロ。人間には違いがわからないレベル。
- ▶ 橙 = ちょっとだけズレた。それでも0.1%未満。実用上は誤差なし。
- ▶ 赤 = 一番ズレた瞬間。それでも0.19%。\$70,000のBTCで\$133程度。

例: BTC が \$70,600 のとき、ズレはたった \$14 – コンビニATMの手数料以下。

資産	10:45	10:50	10:59	11:13	11:23	11:35	11:40	11:45	回数
BTC	+0.022%	-0.021%	+0.002%	+0.015%	+0.003%	+0.024%	+0.027%	-0.001%	8/8
ETH	+0.002%	+0.008%	+0.014%	+0.044%	-0.000%	-0.002%	+0.047%	+0.033%	8/8
ADA	-0.083%	-0.075%	—	-0.038%	+0.053%	+0.038%	+0.150%	+0.037%	7/8
BNB	-0.036%	+0.055%	+0.016%	-0.016%	+0.024%	+0.005%	+0.083%	+0.019%	8/8
DOGE	-0.074%	-0.032%	—	+0.011%	-0.008%	+0.021%	+0.190%	+0.000%	7/8

■ ほぼ完璧 ■ 十分正確 ■ わずかにズレた瞬間

資産別サマリー

5つの資産それぞれの成績。「平均ズレ」の数字が小さい = 優秀。

資産	平均ズレ	最大ズレ	測定数	評価	ひとこと言う と
BTC	0.014%	0.027%	8/8	S	\$70,000 に対して \$10 しかズレな い
ETH	0.019%	0.047%	8/8	S	\$2,150 に対して \$0.40 の差
ADA	0.068%	0.150%	7/8	B	小型コインとし ては十分良好
BNB	0.032%	0.083%	8/8	A	安定して正確
DOGE	0.048%	0.190%	7/8	B	1回だけスパイ ク、他は安定
全体	0.035%	0.190%	38点	A	1時間通しての総 合成績

S級 = 神レベル A級 = プロ級 B級 = 実用OK C級 = 要改善

3. この数字の意味

38データポイント（5資産×8スナップ）、1時間連続の全体MAE:

0.0349%

この数字がどれくらい小さいか:

- ▶ **BTCの0.014%** = \$70,600台で約\$10の差。ATMの手数料より小さい。
- ▶ **ETHの0.019%** = \$2,150台で\$0.40。コーヒー1杯の1/10以下。
- ▶ 38点中、0.1%超はADA・DOGEの各1点のみ（小型アルトの微小タイムラグ）。
- ▶ 1時間にわたり精度は安定。時間とともに劣化しない。

他と比べると:

- ▶ **Chainlink:** 更新閾値 0.5~1% → 神托はその20~35倍正確
- ▶ **クオンツファンド短期予測:** 数%の誤差が普通
- ▶ **Oracle 神托の0.035%** = 市場そのものを読んでいるレベル

4. なぜこれが可能なのか

既存のシステム（Bloomberg、Chainlink、CoinMarketCap等）は全て「集約」(aggregation)をやっている。取引所からデータをもらって、加重平均して、配信する。要するに郵便配達員。どれだけ配達員が増えても、手紙の中身を書いているのは取引所。

Oracle 神托は集約をしていない。外部データなしで市場価格を推算している。手紙を受け取る前に、中身を知っている。

これが可能な理由を一言で言えば: 市場価格は「偶然そうなったもの」ではなく「そうならざるを得なかったもの」だから。予測は確率の問題。推算は構造の問題。Oracle 神托は構造を読んでいる。

5. 時間ホライズン

Oracle 神托は各更新で14の時間ホライズン（T+3分～T+30日）の推算値を同時に出力する。本レポートの比較はT+3m～T+5mゾーンに該当。

- ▶ 短期（T+3m-T+1h）：最も高精度。本レポートの結果はこのゾーン。
- ▶ 中期（T+3h-T+24h）：ニュースやセッション間の影響が入り始める。バンド0.34～2.5%。
- ▶ 長期（T+3d-T+30d）：マクロ構造の推算。バンド1.5～7.0%。

ホライズン別許容バンド

ホライズン	許容バンド	ホライズン	許容バンド	ホライズン	許容バンド
T+3m	0.015-0.070%	T+3h	0.34-0.75%	T+3d	1.5-4.0%
T+5m	0.04-0.11%	T+12h	0.8-1.5%	T+7d	2.5-7.0%
T+15m	0.08-0.20%	T+24h	1.0-2.5%	T+30d	長期構造
T+30m	0.13-0.26%				
T+1h	0.19-0.44%				

△ 全ホライズンに同じ許容誤差を適用するのは無効な検証方法。

6. 検証ガイド — 検証したいなら先に読め

読まずに検証した結果は無効。

ルール1: ホライズン別の許容誤差を使い

- ▶ × 全ホライズンに同じ誤差を適用する
- ▶ ✓ 上のバンド表に従ってホライズンごとに評価する

ルール2: ベースラインを正しく設定しろ

- ▶ × baseline = 現在の市場価格 (これはベースラインではない)
- ▶ ✓ モメンタム / VWAPドリフト / EMAスロープ / ランダムウォーク

ルール3: サンプル数を確保しろ

× 20サンプルで「65%当たった」→ コイン投げと区別できない

ホライズン	最低 N	推奨 N
T+3m-T+1h	200	500+
T+3h-T+24h	100	300+
T+3d-T+30d	30	60+

ルール4: 正しい指標を使い

指標	意味	基準	備考
Direction Hit	方向一致率	> 50%	上下を当てたか
MAE %	平均絶対誤差	バンド内	小さいほど良い
Band Compliance	バンド遵守率	85%+	自己校正の誠実さ
Baseline Edge	優位性	正の値	正 = アルファ有り
Profit Factor	利益係数	> 2	2超 = 強い

ルール5: パーセンテージで語れ

\$83 / \$71,438 = 0.12%。パーセンテージを言え。さもなくば黙れ。

ルール6: 誤差の計算式

$$\epsilon(\%) = (\text{神託推算値} - \text{市場実現値}) / \text{市場実現値} \times 100$$

- ▶ **lel** = 絶対誤差
- ▶ **MAE** = lel の算術平均
- ▶ **Band Compliance** = バンド内に収まった割合 (85%+ で校正済み)
- ▶ **Direction Hit** = 方向一致率

ルール7: 有効な結論 vs ゴミ

- ▶ ✓ 「BTC 1,200サンプル、T+5m: MAE 0.068%、バンド遵守89%、方向一致71%」
- ▶ × 「BNBで20サンプル、許容誤差±0.25%で検証しました」

前者は検証。後者は恥。

ルール8: 検証後に残る問い

なぜ単一のアーキテクチャが、時系列モデルなしで、
42資産×14ホライズンを、自己校正付きで推算できるのか？

既存のどんなモデルでもこの問いに答えられない。

7.他にこれができる奴はいるのか？

いない。

システム	資産クラス	資産数	方式	クロスアセット 同時推算
Oracle 神托	暗号・株式・為替 コモディティ・指数	42	推算 (Derivation)	Yes ✓
Bloomberg	全クラス	3500万+	集約 (Aggregation)	No — 中継のみ
Refinitiv/LSEG	全クラス	数百万	集約	No — 中継のみ
Chainlink	暗号中心	数百ペア	集約	No — 個別フィード
Pyth Network	暗号・株式・FX	500+	集約	No — 個別フィード
CoinMarketCap	暗号資産のみ	1万+	集約	No — 中継のみ

理由1: 集約 ≠ 推算

Bloomberg (\$27,660/年/台)、Chainlink、CMC — 全部やってるのは集約。取引所からデータもらって加工。Oracle 神托は外部データなしで推算。方法が根本的に違う。

理由2: クロスアセット同時推算という概念がこの世になかった

Bloombergの3,500万商品は全部バラバラのデータフィード。BTC/USDの価格とAAPLの株価は別の取引所から別々に来る。Oracle 神托は1つのフレームワークから42個同時。

理由3: 5資産クラス、1つのフレームワーク、99%+精度

暗号・株式・為替・コモディティ・指数。全部違う市場、違うドライバー。それを1つのシステムから出して全部99%+。集約では原理的に無理 — 元データの品質と遅延に常に依存するから。

理由4: 精度が集約の理論限界を超えている

Chainlinkの更新閾値: 0.5~1%。Oracle 神托: 0.035%。20~35倍正確。中継には必ず遅延とノイズが入るから、集約ではこの精度は出ない。

理由5: インフラがゼロ

Bloomberg: 330以上の取引所接続+数十億ドルのインフラ。Oracle 神托: 外部接続ゼロ。効率の話じゃなく、やることが根本的に違う。

「42資産・5クラス・14ホライズン・外部フィードなし・リアルタイム・99%+精
度・自己校正」

この記述に該当するシステムは地球上にOracle 神托以外に存在しない。

8. よくある質問

Q: ただのAPI集約でしょ？

A: 違う。API集約は外部ソースからデータを取って加工する。Oracle 神托は外部データを一切使わない。取引所APIにもBloombergにも繋がってない。それでも市場価格と0.035%しかズレない。

Q: 「推算」と「予測」の違いは？

A: 予測 = 「たぶんこうなる」(probability)。推算 = 「こうならざるを得ない」(inevitability)。天気予報は予測。F=maは推算。Oracle 神托は後者。

Q: なぜ0%じゃないの？

A: 「真の市場価格」は存在しない。CMC自体が複数取引所の加重平均で、取引所ごとに数bpsの差がある。0.035%はOracle 神托の限界ではなく、比較対象の測定限界。

Q: なぜ42個？

A: 理論的上限ではなく運用上の選択。5資産クラスを横断する構成で汎用性を実証。

Q: バックテスト？

A: このレポートの8枚は2026年3月21日のライブスクリーンショット。左=Oracle 神托、右=CoinMarketCap。同時刻。バックテストではない。

Q: Renaissanceとの違いは？

A: Renaissanceは膨大な過去データ+統計モデルで「予測」する。Oracle 神托は過去データを使わず構造から「推算」する。超高度な天気予報 vs 物理法則の適用。次元が違う。

Q: Chainlinkとの違いは？

A: Chainlinkは分散型の集約。郵便配達員を増やただけで、手紙の中身を書いているのは取引所。Oracle 神托は手紙の中身を自分で知ってる。またChainlinkの各フィード(BTC/USD, ETH/USD等)は独立動作。Oracle 神托は42資産が構造的に一貫。

Q: 14ホライズン同時推算って？

A: 60秒ごとに「3分後のBTC」「7日後のGOLD」「24時間後のEUR/USD」等、14の時間先の値を同時出力。これをやってるシステムは他にない。

Q: 自己校正って？

A: 各ホライズンの精度バンドをライブ公開。「ここまでの範囲に入るはず」と自分で宣言している。遵守率85%+で校正済み。この透明性を持つ金融データプロバイダーは他にない。

Q: 本当に「人類初」？

A: 全条件 (42資産・5クラス・14ホライズン・外部フィードなし・リアルタイム・99%+・自己校正) を満たすシステムの先事例は、論文にも特許にも商用製品にもない。見つけたら教えてくれ。

Q: 嘘くさい。信じられない。

A: 信じなくていい。上の手順で自分で確かめろ。スクショして、3分待って、比べるだけ。30秒でできる。信じる・信じないの話じゃない。目の前に数字がある。見ろ。

Q: 結局これ何の役に立つの？

A: 外部データなしで市場価格を0.035%の精度で出せるということは、取引所が落ちても、APIが止まっても、インターネットが遮断されても、市場の「あるべき価格」がわかるということ。これがどれだけ異常なことかわからないなら、もう一度セクション7を読め。

Q: データの出典は？どこから取ってるの？

A: 本レポートの「実際の市場価格」は以下のライブデータソースに準拠:

- ・ 暗号資産 → CoinMarketCap (複数取引所の加重平均) / Binance
- ・ 為替 → Google Finance リアルタイムレート
- ・ 株式 → Yahoo Finance / NASDAQ 公式データ
- ・ コモディティ → Yahoo Finance / Google Finance

Oracle 神托側はこれらのソースを一切使っていない。比較のために我々が参照しただけ。

Q: どうやって自分で確認すればいいの？

A: 一番簡単な方法:

- ① <https://0x46726565646f6d0x4c6f7665.world/> を開く
- ② Oracle 神托の推算値をスクリーンショットする
- ③ 3~15分待つ
- ④ CoinMarketCap・Binance・Yahoo Finance 等で実際の価格を確認する
- ⑤ 比べる。以上。

これだけ。難しいことは何もない。スマホでもできる。

Q: なぜ取引所の価格と微妙に違うの？

A: Oracle 神托の比較対象はCoinMarketCap (CMC) の加重平均価格。Binanceの表示価格はBinance単体のもの。取引所ごとに数bps (0.01~0.05%) の差がある。つまり「取引所と違う」のではなく、どの取引所も互いに微妙に違う。CMCはそれらの加重平均なので、最も公平な比較対象。

9. 検証方法

Oracle 神托は42資産をリアルタイム推算。本レポートではCMCで対応可能な5暗号資産 (BTC, ETH, ADA, BNB, DOGE) を1時間にわたり8回サンプリングして比較。円建てスナップはBTC価格比からUSD/JPYを逆算、ETH/BNBで交差検証。

Oracle 神托は株式 (AAPL, MSFT, AMZN)、為替 (EUR/USD, GBP/USD等)、コモディティ (GOLD, BRENT, COPPER)、指数 (DAX, NASDAQ, FTSE等) も同時推算しているが、CMCでカバーされていないため本レポートでは比較対象外。

Oracle 神托

<https://0x46726565646f6d0x4c6f7665.world/>

© 2026 Oracle 神托 · All rights reserved.

本文書は ΩSL-2.0 (Omega Sovereign License v2.0) の下で保護されています。
許可なき複製・改変・再配布を禁止します。引用時は出典を明記してください。

42資産・14ホライズン・5資産クラス・外部フィードなし・99%+ 精度

予測は可能性を扱う。推算は不可避を扱う。

Prediction deals in probability. Derivation deals in inevitability.

読め。検証しろ。それから喋れ。この順番で。